分析結果報告書[10]共通試料2(土壤試料:金属等) 検液の作製

の色が付いた回答欄に選択肢番号ご記入ください。 の色が付いた回答欄に自由回答をご記入ください。 の色が付いた回答欄に数値をご記入ください。

のような図形で選択肢を囲んでも結果には反映されません。

例: 1.1未満 2.1以上2未満 ③2以上5未満 4.5以上10未満 5.10以上

分析方法等

| 同祭場

NNNAT	▼ Pipinm		
検液作製開始までの試料保存日数(日)		日	
検液作製日数(日)		日	
試料量			
1回目(g)		g	
2回目(g)		g	
3回目(g)		g	
1回目(g) (砒素)		g (砒素の試料量を他項目と変えた場合に記入する)	
2回目(g) (砒素)		g (同上)	
3回目(g) (砒素)		g (同上)	
含水率			
含水率(%)	%(複数分析した場合は平均値を記入する)		
土壌試料の保存状況			
保存方法 注)		1. 冷暗所保存 2. 保存しない(直ちに分析) 3. その他	
3. その他(右のセルにご記入ください)			
保存温度(°C)		°C	

注)冷蔵保存、冷凍保存は冷暗所保存に含む

検液の調製

1火/人 い 調 表			
塩酸1mol/Lの種類		1. 自社調製 2. 市販品(塩酸1mol/L 溶液)	
塩酸1mol/L の使用量-1回目(mL)		mL	
塩酸1mol/L の使用量ー2回目(mL)		mL	
塩酸1mol/L の使用量-3回目(mL)		mL	
塩酸1mol/Lの使用量-1回目(mL)(砒素)		mL(砒素の試料量を他項目と変えた場合に記入する)	
塩酸1mol/Lの使用量-2回目(mL)(砒素)		mL(同上)	
塩酸1mol/Lの使用量-3回目(mL)(砒素)		mL(同上)	
容器の材質	1. ポリエチレン 2. ポリプロピレン 3. ガラス 4. その他		
4. その他(右のセルにご記入ください)			
容器の体積(mL)		mL	
土壌試料に塩酸溶液を加えてから溶出 操作(振とう)までの放置時間(h)		h(時間単位で記入する(例えば、30 分では 0.5 とする)。直ちに振とうした場合にはOとする。)	

抽出操作

容器の置き方/振とう方向		1. 横置き/横振り 2. 横置き/縦振り 3. 縦置き/横振り 4. 縦置き/縦振り 5. その他	
5. その他(右のセルにご記入ください)			
振とう開始時の気温(°C)		°C	
振とう回数(回/min)	回/min		
振とう幅(cm)	cm		
振とう時間(h)		h(時間単位で記入する(例えば、30 分では 0.5 とする)。)	
振とう方法	1. 連続振とう 2. その他		
2. その他(右のセルにご記入ください)			
振とう終了からろ過等までの放置時間(h)	h(時間単位で記入する(例えば、30 分では 0.5 とする)。直ちにろ過した場合にはOとする。)		

ろ過等

1. 実施した 2. 実施しなかった	
1. 実施した 2. 実施しなかった	
1. 東洋濾紙(アドバンテック東洋) 2. ミリポア 3. 日本ポール 4. その他	
1. 0.45 µm 2. その他	
1. 90mm 2. 47mm 3. その他	
1. 親水性PTFE 2. 親水性PVDF 3. 親水性PES 4. セルロース混合エステル 5. セルロースアセテート 6. その他	
1. 吸引ろ過 2. 加圧ろ過 3. 自然ろ過 4. その他	

4. その他(右のセルにご記入ください)		
ろ過に要した時間(min)	min	